

もっと知りたいスウェーデン

EXCELLENT

SWEDEN

エクセレントスウェーデン・ケアリング

CARING

Vol.10

満たされた「子供の環境」

スウェーデンのエネルギー政策

原子力に替わる第3の供給源

モード・オロフソン 産業大臣

故郷へと帰る旅

ダーラナ地方 シリアン湖

愛される王室の肖像

10年間の「診断書」

目指す！仕事と生活の調和

上川陽子 内閣府特命担当大臣



環境貢献！政府発グリーンIT計画

膨大な物的・人的資源が費やされる請求書業務を電子化するソリューションを提供するバゲロ社とビジネスアプリケーションを全世界に展開するIFSが、グローバルパートナーシップを締結。新たなテクノロジーが資源とエネルギーの無駄を一扫し、地球環境に貢献できるのか、スウェーデンでは政府主導のプロジェクトが走り出した。

環境への波及効果が期待 電子請求IT計画

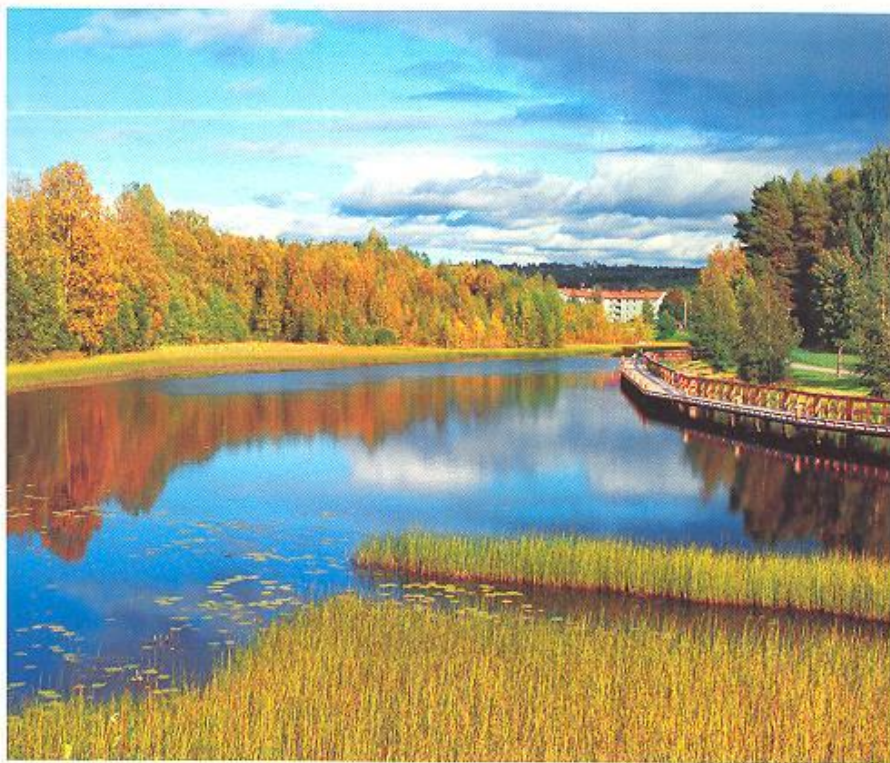
「ITの社会への貢献を考えた場合、やはり政府主導の制度作りが必要で、スウェーデン政府は、二〇〇六年に政府関連機関全てに電子請求システムの使用を義務付ける決定を下しました。北欧では既にデンマークが同様の取り組みを行っており、二〇〇八年にはスウェーデンでも施行されます。こうした動きは、EU諸国でもかなり注目されています」と語る、バゲロ社エグゼクティブ・バイスプレジデント、ヨナス・エドランド氏。同社の請求業務プロジェクトの責任者だ。

現在、スウェーデンの政府関連機関へは一千万件以上の請求書が紙ベースで届く。スウェーデン財務管理機関（ESM）の調査によると、この請求書の流れを電子化することで、年間一億ユーロ（約一六二億円）のコスト削減が見込まれる。スウェーデン政府は、ITを積極的に導入す

ることで時間とコストを削減し、業務の効率化、サービスの質の向上を目指す。

本プロジェクトの対象となるのは、二六〇の政府関連機関と八万五〇〇社のサプライヤー企業だ。政府機関には既にERP（企業資源計画）システムが導入されており、どの機関も電子請求への移行に対して前向きな姿勢を示している。必要とされるのは組織の規模に左右されず、適応性に優れたソリューション。請求書を発行するサプライヤー全てに必要なソリューションを提供する業者の一つとして、バゲロ社が選ばれた。政府が先導するITを利用した仕組づくりによって、公的機関と関連企業で無駄な作業とコストが大幅に削減される。

こうした、ITを積極的に普及しようという傾向は、その波及効果も大いに期待できる。例えば企業は、現在の無駄を省きコストダウンで生まれた時間とお金を、新たな製品サービスの開発や提供へとシフトさせ



て企業の競争力アップを図ることができる。そして注目すべきは、その付加価値、環境への貢献度だ。

一件の請求書の発行に必要なエネルギーは、四〇ワットの電球を一月間点灯するエネルギーに相当する。例えば、年間二〇〇億件の請求書を発行するEU諸国全てが電子請求システムを採用した場合、環境への効果は絶大だ。

予測されるエネルギー削減量

- ・二〇〇億通の文書
- ・四〇万トンの紙
- ・二二〇〇万〜一四〇〇万本の木
- ・二七〇〇トンのインク
- ・一億六五〇〇万リットルのディーゼル燃料
- ・一三五〇ギガワットの電力

現在も着々と進むスウェーデンの電子請求書プロジェクト。二〇〇八年七月、スウェーデンの国家ICT戦略の結果が明らかになる。

常にグローバルな視点で自国を見つめ、分析・調査データを検証し、プロジェクトを立ち上げて遂行する統率力と実行力。スウェーデン人によく見られる、新しいものを積極的に取り入れる姿勢と果敢なチャレンジ精神。それは、バゲロ社のソリューションにも反映されている。今回のICTプロジェクトの結果に期待が膨らむ。

大きな可能性を秘めた電子請求ソリューション

バゲロ社は、スカンジナビア諸国を基盤とする電子決済・請求ソリューションのリーディングプロバイ

ダー。一九九〇年の設立以来、スウェーデンをはじめ、世界一七カ国の企業に拡張性のあるソリューションを提供している。

今回、国家プロジェクトで採用されたバゲロ社の電子請求ソリューションは、従来のデジタル紙（アナログ）—人—デジタルという流れを、デジタル—デジタル（D2D）に移行することで時間、コスト、資源の削減を図る。最先端の会計システムが既に導入されているにも関わらず、依然として請求書を紙で発行し、受け取った請求書をスキャンしてデジタル化する企業は少なくない。これを、電子化することで請求プロセスを簡素化かつスピードアップし、投資利益を実現する。

請求書を電子化してやり取りをするプロセスでは紙を一切必要としない。バゲロ社が提唱する、木を残して、電子請求書を送る、ソリューション。このソリューションは、グリーンICTであるといえる。

バゲロ社のソリューションは、企業が既に投資したビジネスシステムに左右されず、一般企業を始め、銀行、政府機関など幅広い分野に適用する。その柔軟な対応力、スピーディーな導入とコスト効率の良さ、スウェーデンの銀行トップ二社への導入を始めとする北欧市場での確かな実績が、国家ICTプロジェクトに選ばれた所以といえる。

バゲロ社の電子請求ソリューションは、従来の請求業務プロセスや習

慣に相反するものでは決してない。ビジネスプロセスの無駄な部分をカットし、DSO（売掛金回収期間）を短縮する。また、情報データの安全性と精度を高め、追加コストなしに環境資源と時間を節約、導入プロセスも、驚くほど早い。

「ユイザーは、最初にインターネット上でバゲロ社のサイトに入り、初期登録と必要なアドミニストレーション・ツールをダウンロードします。その後、テスト用の請求書を送付し、それをバゲロサーバーが短時間で確認処理をします。アクセス待ちの企業数にもよりますが、最大でも一両日でシステムがアップします」と、エドランド氏は、自信を持って説明する。


今後も確実な成長が見込まれる電子請求・決済分野の注目プレイヤー、バゲロ社。最新のテクノロジと北欧市場での実績、ノウハウを携えて、積極的にグローバル展開を進める。二〇〇七年一〇月には、ビジネスアプリケーションベンダーのIFSと

のグローバル契約を発表した。「バゲロ社にとって、IFSの持つERP分野でのノウハウ、そして世界五カ国に広がるネットワークは大変魅力的です。我社のソリューションの最大のメリットであるオープン性とIFSの強みを生かして更なるグローバル展開を図ります」と、エドランド氏は強調する。

一方、バゲロ社の先進性と可能性にいち早く着目してグローバルパー



バゲロ社エグゼクティブ・バイスプレジデント、ヨナス・エドランド氏（右）とIFS社の創業者、取締役副会長のペント・ニルソン氏



トナー第一号となったIFS。その背景を、同社の創業者、取締役副会長のベント・ニルソン氏は次のように語る。

「IFSはERPベンダーですから、常にリソース（物的・人的資源）を有効に活用するソリューションの提供を考えています。ユーザーは、現在のIFSの会計システムを利用しながら、短期間で電子請求ソリューションへのアクセスが可能となります。無駄なワークフローを改善し、ROI（投資利益率）の向上を実現

それと同時に環境への貢献も期待できる。こうしたユーザーと社会のメリットを考えれば、IFSにとってバゲロ社とのパートナーシップは当然の結果といえます」

IFSの提供するソリューションに対応したバゲロ社の電子請求ソリューション。販売物流、生産管理、メンテナンスなど100以上のコンポーネントを備え、企業の経営課題に応じて段階的に必要なモジュールを選択、導入稼動が可能な「3DのApplications」とバゲロ社のエンジ

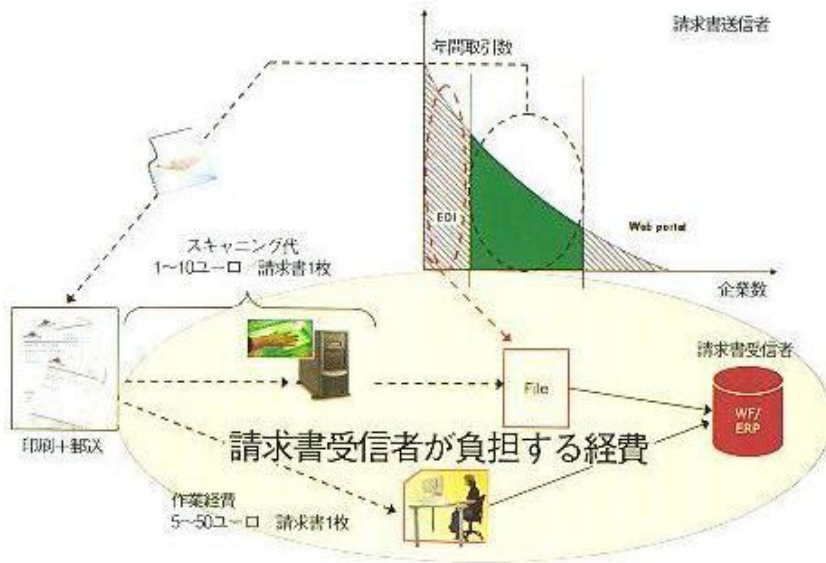
ンサーバーが統合されて提供される。ユーザーは、既に導入済みの社内の使い慣れた会計システムを使用して作成した請求書を、プリンターで紙に印刷する代わりに、PDFやXML形式でバゲロサーバーへ送る。後は、そのデータをバゲロサーバーが受け取る側に合ったファイル形式へと自動変換して転送する。送る側は、紙ベースの請求書を封筒に入れ、切手を貼って郵送する手間は全く必要ない。受け取る側も、封筒を開け

て紙を処理する代わりに、電子データでスムーズに承認プロセスへと移行できる。ヨーロッパ諸国だけで見積もってかなりの効果が期待できる電子請求ソリューション。グローバルに普及した場合は、その威力は計り知れない。近い将来、インターネットを使ったネットワークサブライチーンを実現するためには、国家間での取り決めの見直しもあるが、まずは各国の請求書の電子化への取り組みが

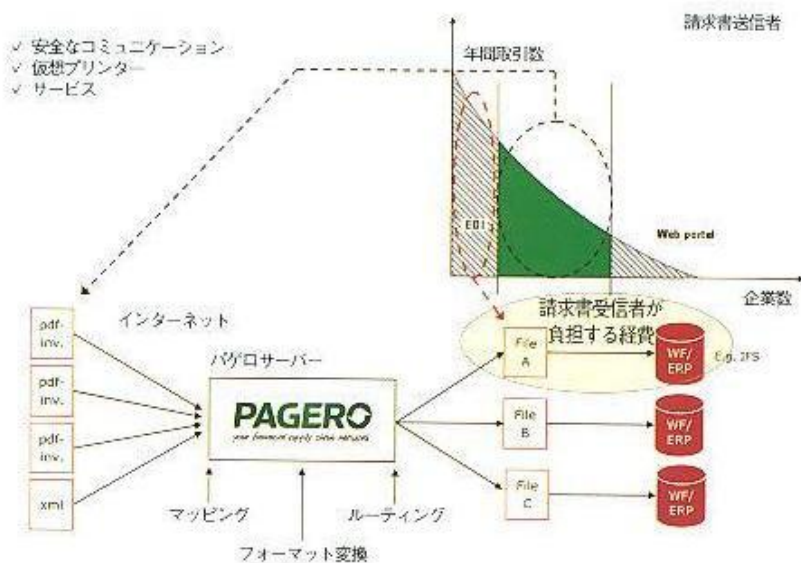
先決だ。「電子請求システムがグローバルに広がるためのテクノロジは既にできています。スウェーデンを含むスカンジナビア諸国での請求書の電子化の流れに、他のヨーロッパ諸国も確実に追いついてきます。最新のテクノロジをいち早く取り入れる国、例えば日本も同じ方向へ進むのではないのでしょうか」と、エドワード氏は予測する。

バゲロ社のソリューションは、請求書の発行履歴もサーバーに自動的に保存され、必要に応じて容易に取り出せるので、二〇〇八年に施行される日本版SOX法対策にも有効だ。テクノロジは日々刻々と進化している。新技術を生かすかどうかは、利用する側の体制と判断に委ねられている。スウェーデンが示す国家のリーダーシップと強い意志、挑戦する姿勢。ITが環境社会に貢献できるか否か、人間の英知が試される。

現在の電子請求ソリューション



Pageroの電子請求ソリューション—IFS Applicationとの連携



Excellent SWEDEN **CARING**
Vol.10



2008年2月23日 スウェーデン大使館 〒106-0032 東京都港区六本木1-10-3-100 TEL: 03-5562-5050(代)

ISBN978-4-87738-329-9

C0026 ¥1429E

定価(本体 1,429 円+税)

発売：株式会社伊国屋書店



9784877383299



1920026014296